SONY

ユーザーガイド

スマートイメージングスタンド

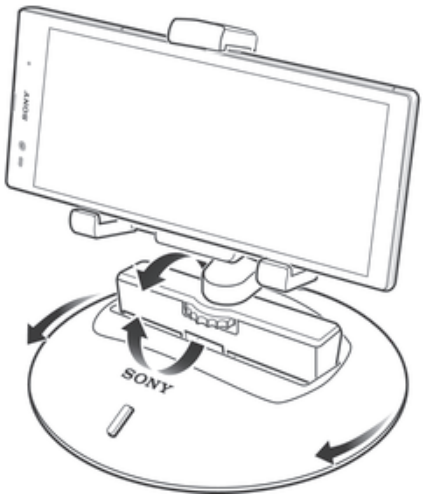
IPT-DS10M

目次

ユーザーガイド.....3
はじめに.....4
ご使用になる前に.....4
ハードウェアの概要.....4
基本操作.....5
組み立て.....5
電池.....5
電源オン/オフ.....5
リセット.....6
準備.....7
必要なアプリケーションのインストール.....7
Android 機器とのペアリング(機器登録).....7
Android 機器との接続.....8
使用方法.....10
写真とビデオの撮影.....10
表情認識機能の精度向上.....10
笑顔認識機能の感度変更.....11
拡張アプリケーションのインストール.....11
優先拡張アプリケーションの設定.....11
Legal information.....12

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

ユーザーガイド



これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

はじめに

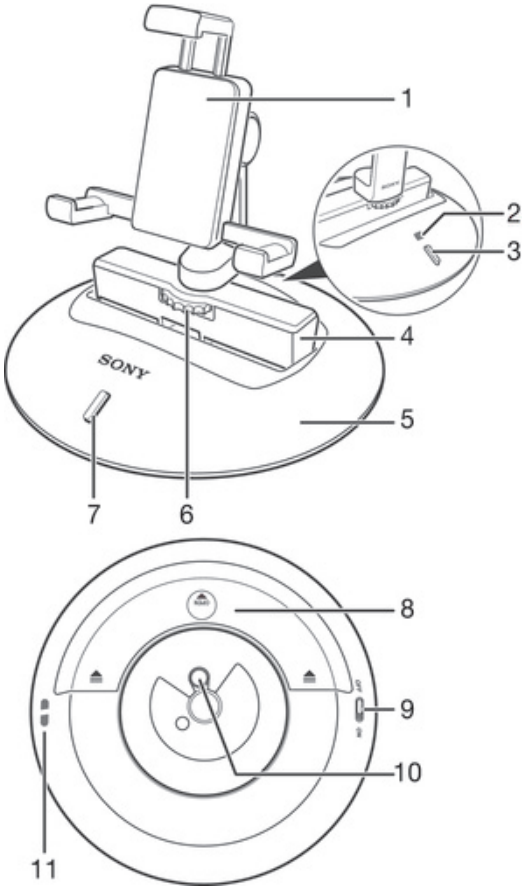
ご使用になる前に

本機をご使用になると、Android 機器のカメラを自動的に右または左まわりに回転させたり、前後の角度をスムーズに変えることができるようになります。

Android 機器と本機を連動することで特定の人物の顔を追尾し、笑顔を検出すると顔写真を撮影します。また、ビデオ撮影時に特定の人物の顔を追尾し、撮影することもできます。さらにアプリケーションをダウンロードすることで、より多くの機能をご利用いただけるようになります。

! 上記の機能を使用するには、Bluetooth 対応の機器にスマートコネクトアプリケーション (バージョン 5.4 以上) とスマートイメージングスタンドアプリケーションがインストールされている必要があります。

ハードウェアの概要



1	機器ホルダー	7	電源インジケーター
2	NFC 検出エリア	8	電池カバー
3	Bluetooth インジケーター/ボタン	9	電源スイッチ
4	チルトアーム	10	三脚取り付け穴
5	スタンドベース	11	盗難防止ワイヤー穴
6	スクリューノブ		

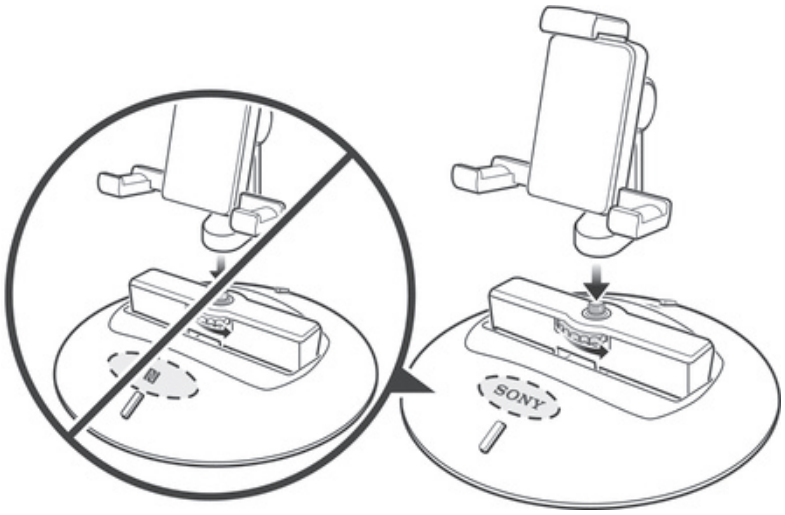
これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

基本操作

組み立て

スマートイメージングスタンドは、ご使用前に正しく組み立てる必要があります。

スマートイメージングスタンドを組み立てるには



- スクリューノブを左に回して、機器ホルダーをチルトアームに固定します。

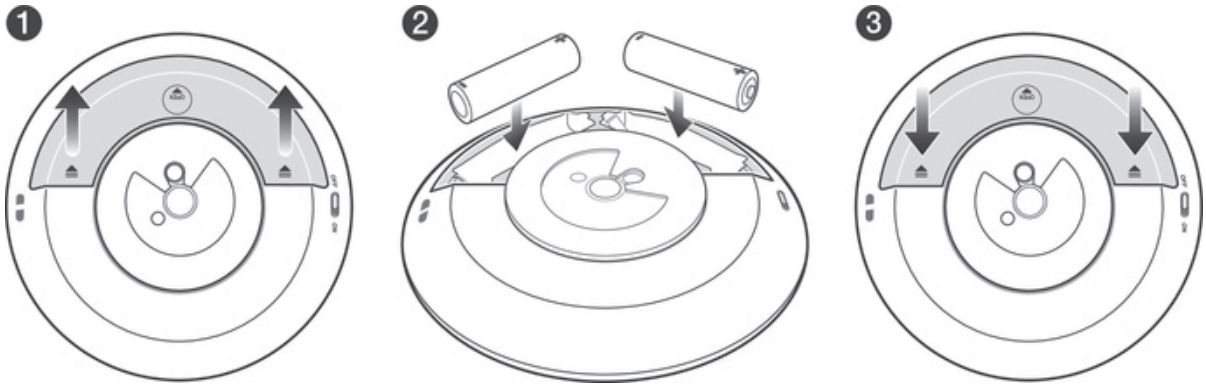
! 機器ホルダーは電源インジケーターと向かい合わせに取り付ける必要があります。

電池

スマートイメージングスタンドは2本の単三電池を電源として使用します。

! 電池は個別にお買い求めください。

電池を挿入するには



1 電池カバーの両端を押さえ、カバーを外側に向けてスライドさせます。
2 単三電池 2 本を指定方向に（一方のプラス極ともう一方のマイナス極が接するように）挿入します。
3 電池カバーをスライドさせて戻します。

電源オン/オフ

スマートイメージングスタンドをオンにするには

- 電源スイッチを ON の位置までスライドさせます。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

スマートイメージングスタンドをオフにするには

- 電源スイッチを OFF の位置までスライドさせます。

リセット

スマートイメージングスタンドが予期しない動作をしたときは、リセットします。機器をリセットすると、ペアリングされた機器に関する情報や設定がすべて削除されます。

スマートイメージングスタンドをリセットするには

1. 本機がオフになっていることを確認します。
2. 電池を取り外し、装着し直します。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

準備

必要なアプリケーションのインストール

本機と Android 機器を連動させるには、まず、機器にスマートコネクトアプリケーション (バージョン 5.4 以上) をインストールし、続いてスマートイメージングスタンドアプリケーションをインストールする必要があります。

スマートコネクトアプリケーションを Android 機器にインストールするには

1 本機をオンにします。
2 Android 機器: NFC機能をオンに設定し、画面がロック解除されてアクティブな状態であることを確認します。
3 Android 機器と本機の双方の NFC 検出エリアが接するように、両者を近づけます。
4 Android 機器:画面に表示される手順に従います。

NFC 非対応の機器をご使用の場合や、Android 機器に既に旧バージョンのスマートコネクトアプリケーションがインストールされている場合は、Google Playストアから直接スマートコネクトアプリケーションをダウンロードまたは最新版に更新してください。

スマートイメージングスタンドアプリケーションを Android 機器にインストールするには

1 本機をオンにします。
2 Android 機器:スマートコネクトアプリケーションが正しくインストールされていることを確認します。
3 Android 機器:NFC機能をオンに設定し、画面がロック解除されてアクティブな状態であることを確認します。
4 Android 機器と本機の双方の NFC 検出エリアが接するように、両者を近づけます。
5 Android 機器:画面に表示される手順に従います。

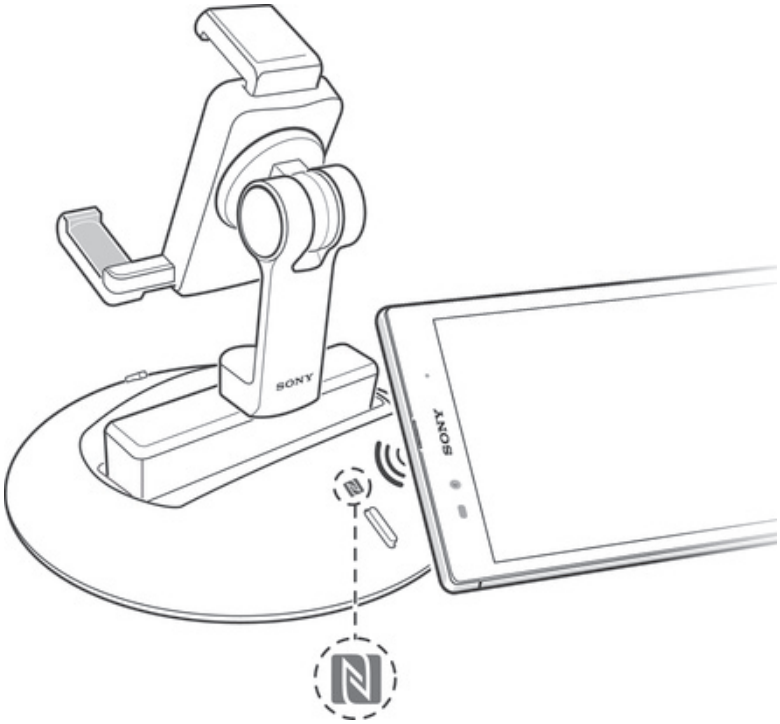
NFC 非対応の機器をご使用の場合は、Google Play ストアから直接スマートイメージングスタンドアプリケーションをダウンロードしてください。

Android 機器とのペアリング(機器登録)

Android 機器に必要なアプリケーションをインストールしたら、本機と Android 機器をペアリングする必要があります。ペアリングが成功したら、次は本機と Android 機器を接続し、連動できるようにします。この2つの機器は、NFC を使用したNFCワンタッチ接続でペアリングするか、Bluetooth を使用して手動でペアリングします。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

スマートイメージングスタンドとAndroid 機器をNFC ワンタッチ接続でペアリング(機器登録)するには



1. 本機をオンにします。
2. Android 機器: スマートコネクトアプリケーションとスマートイメージングスタンドアプリケーションが正しくインストールされていることを確認します。
3. Android 機器: NFC 機能をオンに設定し、画面がロック解除されてアクティブな状態であることを確認します。
4. Android 機器と本機の双方の NFC 検出エリアが接するように、両者を近づけます。
5. Android 機器: 画面に表示される手順に従います。

! 手順 5 で、本機に Bluetooth パスコードを入力するよう求められますが、これを無視してペアリングボタンをタップしてください。

スマートイメージングスタンドと Android 機器を手動でペアリングするには

1. 本機をオンにし、Bluetooth ボタンを長押しします (Bluetooth ボタンが高速で点滅します)。
2. Android 機器: スマートコネクトアプリケーションとスマートイメージングスタンドアプリケーションが正しくインストールされていることを確認します。
3. Android 機器: Bluetooth をオンに設定して近くの機器をスキャンし、使用可能な機器のリストから「Smart Imaging Stand」を選択します。
4. Android 機器: 画面に表示される手順に従います。

! 手順 4 で、本機に Bluetooth パスコードを入力するよう求められますが、これを無視してペアリングボタンをタップしてください。

Android 機器との接続

ペアリングが完了した本機と Android 機器は、使用後に本機の電源をオフにして接続が切れても、再び使用するときには NFC ワンタッチ接続で接続したり、スマートコネクトアプリケーションを使用して手動で接続することができます。

スマートイメージングスタンドと Android 機器を NFC ワンタッチ接続で接続するには

1. Android 機器: Bluetooth 機能がオンになっていて、本機が Android 機器とペアリングされていることを確認します。
2. 本機をオンにします。
3. Android 機器と本機の双方の NFC 検出エリアが接するように、両者を近づけます。これで本機は Android 機器に自動的に接続されます。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

スマートイメージングスタンドと Android 機器を手動で接続するには

1. Android 機器: Bluetooth 機能がオンになっていて、スマートイメージングスタンドが機器とペアリングされていることを確認します。
2. 本機をオンにします。
3. スマートコネクトアプリケーションを開き、機器のリストから「Smart Imaging Stand」>「スマートイメージングスタンド設定を編集」を選択します。
4. をタップし、ペアリングされた機器のリストで「Smart Imaging Stand」を選択します。がに変わると、本機は Android 機器に接続されています。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

使用方法

写真とビデオの撮影

スマートイメージングスタンドに Android 機器を接続すると、写真とビデオを撮影する準備が整います。

写真を撮影するには

1 Android 機器をホルダーに固定し、その画面が電源インジケーターを向くようにします。
2 本機に機器を接続します。
3 スマイルキャッチャーアプリケーションが自動的に起動しない場合は、ポップアップリストからを選択します。
4 Android 機器の画面上の撮影ボタンをタップします。これで撮影準備が整います。
5 Android 機器のカメラが自動的に人物の顔を認識し、追尾します。
6 足元が安定した場所に立ち、微笑みます。笑顔が検出されると、顔写真が自動的に撮影されます。

! 機器のカメラは、被写体の人物が静止して笑顔を見せた場合のみ、写真を撮影します。

! 同じ人物の写真を 2 枚撮影すると、本機は自動的に追尾を中止し、別の人物の顔を探します。

手順 3 で スマイルキャッチャーアプリケーションが常に自動的に起動するようにするには、スマートイメージングスタンドのアプリケーション設定で、スマイルキャッチャーを優先アプリケーションに設定します。

ビデオを撮影するには

1 Android 機器をホルダーに固定し、その画面が電源インジケーターを向くようにします。
2 本機に Android 機器を取り付けます。
3 スマイルキャッチャーアプリケーションが自動的に起動しない場合は、ポップアップリストからを選択します。
4 機器のカメラをビデオモードに切り換え、画面上の撮影ボタンをタップします。これでビデオカメラが被写体の人物の顔を追尾します。

手順 3 で スマイルキャッチャーアプリケーションが常に自動的に起動するようにするには、スマートイメージングスタンドのアプリケーション設定で、スマイルキャッチャーを優先アプリケーションに設定します。

カメラの被写体を他の人物に切り替えるには

1 ビデオカメラまたはスチルカメラがあなたを被写体として追尾しているときは、腕を左または右に振ります。
2 腕を左に振った場合はあなたの左の人物へ、右に振った場合は右の人物へと、被写体が循環的に切り替わります。

! 腕を振るときは、腕がカメラのビューファインダー内に収まるようにしてください。

表情認識機能の精度向上

スマートイメージングスタンドアプリケーションと一緒にインストールされるスマイルキャッチャーアプリケーションには、表情認識テクノロジーが搭載されています。人物の表情を認識しづらい条件下、たとえば暗がりにいる場合や、スカーフや帽子などを着用していて顔の一部が隠れている場合などは、スマイルキャッチャーアプリケーションが期待通りには機能しないことがあります。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

スマイルキャッチャーアプリケーションを使用するときは、認識精度を上げるため、次の手順に従ってください。

- 顔に十分な光量が当たっていることを確認します。
- 機器のカメラレンズに異物が付着していないことを確認します。

笑顔認識機能の感度変更

笑顔認識機能の感度は調節できます。たとえば、満面の笑みのみを検出して機器のカメラで撮影するよう感度を設定できます。

笑顔認識機能の感度を調節するには

1. スマイルキャッチャーアプリケーションを開いた状態で、画面上の✕をタップします。
2. 「スマイルシャッター」をタップし、感度のオプションを選択します。

拡張アプリケーションのインストール

スマートイメージングスタンドアプリケーションと一緒にインストールされるスマイルキャッチャーアプリケーションに加えて、その他の拡張アプリケーションをインストールすると、本機でより多くのことができるようになります。たとえば、スマートカメラ拡張アプリケーション機能をインストールしてスマートウォッチアクセサリーを使用すると、本機の動きを制御することができます。

拡張アプリケーションをインストールするには

1. Android 機器: スマートコネクトアプリケーションを開き、機器のリストから「Smart Imaging Stand」を選択します。
2. 「スマートイメージングスタンド設定を編集」>「アプリケーション」>「アプリケーション検索」の順にタップし、検索します。
3. 画面に表示される手順に従います。

優先拡張アプリケーションの設定

Android 機器に複数の拡張アプリケーションをインストール済みの場合、そのうちの 1 つを優先アプリケーションとして設定することができます。優先アプリケーションは、本機を Android 機器に接続すると自動的に起動します。

優先拡張アプリケーションを設定するには

1. Android 機器: スマートコネクトアプリケーションを開き、機器のリストから「Smart Imaging Stand」を選択します。
2. 「スマートイメージングスタンド設定を編集」>「アプリケーション」の順にタップし、続いて優先アプリケーションの隣の★をタップして、★が★に変わることを確認します。

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。

Legal information

Sony IPT-DS10M

ご利用になる前に、別紙の取扱説明書をお読みください。

本ユーザーガイドは、Sony Mobile Communications AB、または各地域の関連会社が保証なしで発行するものです。誤植、不正確な情報、またはプログラムおよび/または機器の改良による本ガイドの改訂および変更は、予告なく任意の時に Sony Mobile Communications AB が行います。当該変更箇所は、本ガイドの改訂版(最新版) に適用されます。
All rights reserved.
©2013 Sony Mobile Communications AB.
発行番号：
Bluetooth 機器の相互操作性および互換性は、状況に応じて異なります。機器は通常、Bluetooth 1.2 以降に対応し、ヘッドセットまたはハンズフリープロファイルを持つ製品に対応しています。
Sony はソニー株式会社の商標または登録商標です。Bluetooth は Bluetooth (SIG) Inc.の商標であり、この名称は所有者の許可のもとに使用しています。その他の商標はすべて各所有者に帰属します。All rights reserved.
本書に記載された商品および会社名はすべて各所有者の商標または登録商標です。ここに明示されていない他の権利についても権利を留保します。その他の商標はすべて各所有者に帰属します。
詳細は、http://www.sonymobile.co.jp を参照してください。
イラストは説明を目的として使用されており、実際のアクセサリーを正確に示すものではありません。

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Any change or modification not expressly approved by Sony may void the user's authority to operate the equipment.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This device complies with RSS-210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.
This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

これはインターネット版刊行物です。© 個人使用目的でのみ印刷することができます。